

No.69
2018
11/1



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



無謀な回復運転を強要し、遅れたら報奨金カット！？ 強権的な労務管理では安全は創れない！

2018年10月21日に台湾で発生した特急列車脱線事故では、乗客18名が死亡・215名が重軽傷を負い、運転士が逮捕されています。

直接的要因としては運転士が独断で保安装置を解放し、制限速度を大幅に超えて曲線に進出した事ですが、背後要因として以下の事があったと10月26日付けの聯合新聞網という現地メディアが伝えています。

趕點家常便飯 司機：曾被要求關ATP 開快一點

2018-10-26 00:22 聯合報 記者洪安怡、侯俐安、吳麗君、鍾稼輝攝



台鐵宜德橋翻覆事故因列車超速釀禍，通聯紀錄得知，尤姓司機員一路求救車輛動力有問題，卻未獲有效解決，由於百年老店營運量不斷攀升，當班次、車站愈

- 保安装置を切った理由は、車両故障が常態化していたため
- 遅延時には運転士が指令から保安装置を切ることも含めた回復運転を図るよう、日常的に要請されていた
- 乗務時間と運行距離は点数として累積され、一定点数に達すると報奨金が与えられるが、一度の遅延で点数はリセット

台湾での事故は果たして「対岸の火事」と言えるでしょうか？「福知山線脱線事故」では懲罰的な日勤教育、「のぞみ号台車亀裂事故」では関係社員間の意思伝達不足や車両構造の欠陥がクローズアップされました。

JR 東日本会社でも些細な事を理由に乗務停止にされたり、ドア故障を起こしたにも関わらず営業運転を継続する事象が発生しています。

安全なくして労働なし！ 安全第一の職場風土を全組合員で創り出そう！！

No.60
2018
10/25
はちおうじ
JR東労組
八王子地本

台湾鉄道事故 事故原因は経験と要員不足!?



マスコミ報道によると当該運転士は48歳にも関わらず運転歴は5年、普段の業務は『平日：事務処理、土日：運転業務（人手不足による応援）』にあたっていたと言います。

あらためて乗務労働の特殊性の堅持としっかり休養の取れる要員体制の確保が鉄道の安全確保に重要であることが明らかに!!